



今年で **3 回目** となる愛媛 WG には、21 施設、50 名の参加がありました。

会場の様子

おとなしく引っ込み思案な愛媛県人ですが、毎年ベストプラクティスにかぎってはそんなことはありません。

自施設の感染対策を改善するために、他施設からの参加者やアドバイザーと何度も熱い意見交換を行っていました。

使命感に燃えて打ち込むことができるのも、愛媛の県民性です。



参加者の声



【住友別子病院 荒木翔子さん：看護師経験 3年目】

今回、先輩に声をかけられてベストプラクティスに参加しました。私たちのグループのテーマは『CVC のドレッシング交換』でした。手順書を作成していく中で、新人のときに教えられてから普段なにげなくやっていた手技の根拠や、自分ができていなかったことが本当は感染対策上重要だったということがわかり、大変勉強になりました。また、作成したベストプラクティスを自施設で教育・活用する中で、人への伝え方や遵守の継続性が難しいと思うこともありましたが、これも私にとっていい経験ができたと思っています。